

人生100年時代の健康戦略 「旅」が生み出すヘルスケアの進化系

趣旨

迫り来る人生100年時代。これまでになかった長寿をどう生きていくかが人生の大きな課題となってきています。独居世帯の急増などによる社会問題も増えていく中、本シンポジウムでは、「旅」が生み出すヘルスケアの進化系として、未来の「旅」の新しいかたち、そして、そこで求められるソリューションについて提言を行い、企業の視点、大学の視点、地方自治体の視点、それぞれから議論を深めることで、人生100年時代の健康戦略を考えます。

日時

平成30年 **12/5** 水 13:00~17:00
[12:00開場、受付開始]

定員

先着 **200名**
◎どなたでも参加できます。

お申込みはHPから

COI東北 検索
<http://www.coi.tohoku.ac.jp>

会場

日本橋コレド室町3
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-5-5

室町ちばぎん三井ビルディング 8階
日本橋ライフサイエンスハブ 会議室



プログラム

<p>来賓挨拶 文部科学省 科学技術・学術政策局 (調整中) 国立研究開発法人科学技術振興機構 ビジョン1 ビジонаリーリーダー 松田 譲</p>	<p>13:00</p> <p>13:10</p>	<p>主催者等挨拶 東北大学 理事 矢島 敬雅 株式会社 JTB 常務執行役員 古野 浩樹</p>
<p>基調報告① COI東北拠点が巻き起こす「旅」と「暮らし」のパラダイム・シフト COI東北拠点 拠点長/プロジェクト統括(PL) 和賀 巖 NECソリューションイノベータ(株)プロフェッショナルフェロー</p>	<p>13:20</p> <p>14:05</p>	<p>基調講演 JTBの取り組みヘルスケア・ソリューションと未来の「旅」のかたち 株式会社 JTB 兼 一般財団法人 日本健康開発財団ヘルスツーリズム研究所長 高橋 伸佳</p>
<p>パネルディスカッション 人生100年時代の「旅」と健康</p> <p>情報提供 ① 地域医療・介護連携の現状と課題: 「旅」の効用とCOI東北拠点への期待 COI 統括VL補佐、名古屋大学 総長補佐 水野 正明</p> <p>情報提供 ② 地方自治体の取り組み事例の紹介(ヘルスツーリズム&地域活性化) 山形県上山市クアアオルト推進室長 佐々木 慶</p> <p>情報提供 ③ 人も自然もワクワク湧く湧くするネットワーク社会 東北大学流体科学研究所 助教 鈴木 杏奈</p>	<p>14:30</p> <p>14:50</p> <p>15:05</p>	<p>基調報告② 「旅」を通じて健康になるためのデバイス・サービス・インタラクション COI東北拠点 副拠点長/研究統括(RL) 東北大学大学院環境科学研究科 教授 末永 智一</p>
<p>パネラー 水野 正明・佐々木 慶・高橋 伸佳・末永 智一・鈴木 杏奈</p> <p>モデレータ 和賀 巖</p>	<p>16:50</p> <p>17:15</p>	<p>休憩</p> <p>閉会の挨拶 研究統括(RL) 末永 智一</p> <p>交流会 (会費:4,000円) ※別途、参加お申込みください。※会費は、当日受付で頂戴いたします。</p>

登壇者プロフィール

プロジェクト統括：パネルディスカッション



和賀 巖

NECソリューションイノベータ(株)
プロフェッショナルフェロー

医学博士(東京大学医学部)、経営学修士(日本大学グローバルビジネス研究科)、東京藝術大学美術学部デザイン科非常勤講師。日本電気株式会社 ビジネスイノベーションユニットプロジェクトディレクター。1998年JT日本たばこ産業株式会社医薬探索研究所 特別研究員として米国GenLogic社のVisiting Scientist、ノースカロライナ大学医学部腎臓学教室Visiting Scientistなど医薬事業研究と創薬研究を推進。2002年米国バイオベンチャー・CombiMatrix社事業開発部長としてIPO実施、2004年6月からはNECソフトおよび日本電気の研究開発、事業開発を歴任。2014年NECソリューションイノベータ(株)イノベーションラボラトリ所長、2017年より技術役員プロフェッショナルフェロー就任、2017年8月より東北大学客員教授(兼COI東北拠点長兼プロジェクトリーダー)。

研究統括：パネルディスカッション



末永 智一

東北大学
環境科学研究科 教授

1981年東北大学大学院薬学研究所博士課程修了後、東北大学薬学部、米国ウイスコンシン大学、東北大学工学部、大学院工学研究科で博士研究員、助手、助教授を経て、1999年東北大学大学院工学研究科教授、2003年東北大学大学院環境科学研究科教授、2008年東北大学大学院環境科学研究科副研究科長、2010年東北大学評議員、東北大学原子分子材料科学高等研究機構(WPI-AIMR)教授、2013年東北大学総長特別補佐(研究担当)、COI東北拠点 研究リーダー、2017年東北大学大学院環境科学研究科教授、2014年東北大学革新的イノベーション研究機構 副機構長(兼 COI東北拠点 研究統括(研究リーダー))。

基調講演者



高橋 伸佳

株式会社JT B /
(財)日本健康開発財団
ヘルスツーリズム研究所長

観光・旅行×健康・医療ビジネスのR&Dを一貫して担当。日本経団連ヘルスケア産業部会「健康投資と企業経営」委員、近畿経済産業局「健康産業の見える化」委員、観光庁「ニューツーリズムの顧客満足度調査」委員、経済産業省「外国人患者の医療渡航促進に向けた医療コーディネート事業者のあり方等に関する研究会」委員など公職を歴任。

- ・順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科博士後期課程単位取得満期退学(健康科学領域)
- ・明治大学専門職大学院グローバル・ビジネス研究科修了(マーケティング領域)

情報提供者



水野 正明

名古屋大学総長補佐

1992年名古屋大学大学院医学研究科修了。社会保険中京病院、国立長寿医療研究センターを経て、1996年名古屋大学医学部脳神経外科助手、1999年同大学院医学系研究科遺伝子治療学助教授、2010年同医学部附属病院脳卒中医療管理センター長、同大総長補佐。2012同大医学部附属病院先端医療・臨床研究支援センター病院教授。2018年8月1日より、同大医学部附属病院先端医療開発部先端医療・臨床研究支援センター長・病院教授。

情報提供者



佐々木 慶

山形県上市市
クアオルト推進室 室長

平成20年度にスタートした「上山型温泉クアオルト事業」を担当して5年目。健康・観光・環境をキーワードに、健康ウォーキングを中心に市民の健康増進につながる取組をはじめ、ヘルスツーリズムの展開による誘客促進や、全国の企業・自治体等との連携事業まで幅広く担当する。平成23年度に新設された「クアオルト推進室」を率いて、「市民みんなに笑顔とハピネスを」「頑張る市民の応援団」をモットーに、チームワークと熱い想いで仕事にあたる。目指すは住む人、訪れる人、そして地域を元気にする「日本一の健康保養地」。

情報提供者

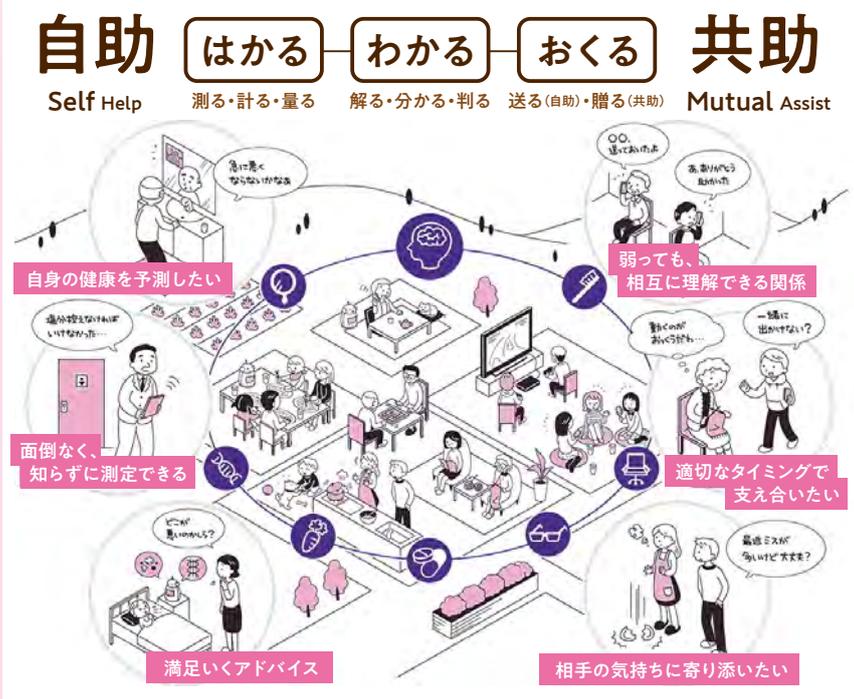


鈴木 杏奈

東北大学
流体科学研究科 助教

2014年3月 東北大学大学院環境科学研究科博士後期3年の課程修了<2011年4月~2014年3月 日本学術振興会特別研究員(DC1)>2014年6月~2016年10月 スタンフォード大学地球科学部エネルギー資源工学科ポスドク<日本学術振興会海外特別研究員、日本学術振興会特別研究員(PD)(東京大学大学院数理科学研究科)>2016年11月~ 現職「研究分野：地下き裂構造と流動評価、複雑系のデザイン、地熱の有効利用」

COI東北拠点のコンセプト図



COI東北拠点の参画企業体制

